

**日本語教育機関のための
自己点検・評価チェックリスト**

日本語教育機関名：名古屋福德日本語学院	2026. 02. 02.
点検・評価項目	確認・評価
1. 理念・教育目標	A B C
1.1 〈理念・ミッション〉 日本語教育を通して、日本事情やマナーに対する理解を深め、日本社会をはじめ国際社会に貢献できる人材を育成する。	—
1.2 〈教育目標〉 1. 自らが望む進路の実現 2. 進路先や生活で役立つ多様な日本語の習得 3. 日本に対する理解を深め、社会に適応できる	—
1.3 理念、教育目標が社会の現状に適合している。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
1.4 理念、教育目標が、教職員及び生徒に周知されている。	<input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/>
<p>【今後の課題】</p> <p>理念・教育目標のさらなる実効性向上のため、教職員間での理解の深化および指導への具体的な反映を一層推進する必要がある。また、学生に対しても継続的に理念を意識させる取り組み（授業内での明示や進路指導との連動等）の強化が求められると考える。</p> <p>さらに、社会状況や進学・就職環境の変化に応じて、理念・教育目標の内容や運用方法について定期的に見直しを行う体制の整備が課題であると考えます。</p>	
2. 学校運営	A B C
2.1 日本語教育機関の告示基準に適合している。【注】	[<input checked="" type="checkbox"/>]
2.2 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されている。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>
2.3 管理運営の諸規程が整備され、規程に基づいた運営が行われている。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2.4 意志決定が組織的に行われ、かつ、効率的に機能している。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
2.5 予算編成が適切に行われ、執行ルールが明確である。	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/>
2.6 外部からの情報収集が効率的に行われ、かつ、共有化する仕組みがある。	<input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

2.7	生徒、入学志願者及び経費支弁者に対して、理解できる言語で情報提供を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.8	授業や運営に関する生徒からの相談、改善点等の担当者が特定され、適切に対処している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2.9	業務の見直し及び効率的な運営の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<p>【現状】</p> <p>本校は、日本語教育機関の告示基準に適合し、関係法令を遵守した適正な運営を行っている。短期及び中長期の運営方針および経営目標は明確に設定され、教職員会議等を通じて周知されている。</p> <p>また、管理運営に関する諸規程は整備されており、規程に基づいた運営が行われている。意思決定についても、組織的かつ効率的に機能しており、必要な事項は速やかに共有されている。</p> <p>予算編成および執行についても適切に管理されており、ルールに基づいた運用がなされている。外部からの情報収集については、関係機関や業界団体等からの情報を適宜収集し、教職員間で共有している。</p> <p>業務の見直しや効率化については、定期的な会議等において検討し、組織的に改善に取り組んでいる。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>運営体制のさらなる強化のため、各種規程や運用ルールの定期的な見直しおよび運用状況の検証を継続的に行う必要があると考える。</p> <p>また、外部環境の変化に迅速に対応するため、情報収集および共有の仕組みを一層強化するとともに、教職員間の情報伝達の精度向上が求められると考える。</p>				
3. 教育活動の計画		A	B	C
3.1	理念・教育目標に合致した課程設定をしている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.2	教育目標達成に向けたカリキュラムを体系的に編成している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.3	国内、又は国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしてレベル設定をしている	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.4	教育目標に合致した教材を選定している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.5	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意している。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.6	教育内容及び教育方法について教員間で共通理解が得られている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3.7	教員の能力、経験等を勘案し、適切な教員配置をしている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【現状】

本校では、理念および教育目標に基づき、進学を主目的とした課程を設定し、教育目標の達成に向けた体系的なカリキュラムを編成している。

また、教育目標に合致した教材を選定し、授業内容および教育方法については教員間で共有されており、一定の共通理解のもとで指導が行われている。さらに、教員の能力や経験を踏まえた適切な配置により、教育効果の向上に努めている。

補助教材や生教材の使用に際しては、出典の明示および著作権への配慮を行っている。

【今後の課題】

補助教材および生教材の使用に関して、著作権への対応や出典管理について、より一層の徹底と教職員間での運用ルールの明確化が必要であると考えます。

また、教育内容やカリキュラムについては、継続的な見直しおよび改善を行うことが求められると考えます。

4. 教育活動の実施	A	B	C
4.1 生徒の日本語能力や国籍等を踏まえて、適切なクラス編成を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.2 教員に対して、担当するクラスの生徒の学習目的、外部試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.3 開示されたシラバスによって授業を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.4 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.5 理解度・到達度の確認を適切に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.6 生徒の自己評価を把握している。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.7 学習上の支援を必要とする生徒に対して、各担任教員などにより、個別学習指導等、適切な指導・支援を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4.8 特定の、その分野の専門家の助言を受けている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

【現状】

本校では、適切な教育環境の整備に努めている。各教員に対しては、生徒の学習目的、外部試験結果、学習歴等の必要な情報を共有しており、指導に活かされている。

また、シラバスに基づいた授業運営を行うとともに、学生管理システム上に授業記録および出席を保存している。理解度・到達度の確認についても、定期試験等を通じて適切に実施している。

さらに、学習支援が必要な生徒に対しては、担任教員等による個別指導を行い、状況に応じた支援体制を整えている。

【今後の課題】

生徒の自己評価の把握については、より体系的な仕組みの整備および活用の強化が必要であると考え。自己評価結果を指導改善や進路指導に効果的に結び付ける体制の構築が求められると考える。

また、外部の専門家からの助言を受ける体制については十分とは言えず、今後は教育内容や指導方法の向上に資するため、外部有識者や専門機関との連携を強化する必要があると考える。

5. 成績評価と授業評価	A	B	C
5.1 評価基準及び評価方法が明確に定められ、適切に行われている。また評価基準と方法を開示している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
5.2 成績評価結果を的確に生徒に伝えている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.3 評価基準及び評価方法の妥当性を定期的に検証している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.4 授業評価を定期的に行っている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.5 評価態勢、評価方法及び評価基準が適切である。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.6 生徒による授業評価を定期的に行っている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
5.7 授業評価の結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【現状】

本校では、定期試験や平常点等に基づき成績評価を実施しており、評価結果については適宜生徒へ伝達している。また、評価基準および評価方法については一定の基準に基づき運用している。

評価基準および評価方法の妥当性については、教職員間で適宜検証を行っており、評価の適正性確保に努めている。授業評価についても、必要に応じて実施し、その結果を教育内容や指導方法の改善、教員の指導力向上に活用している。

【今後の課題】

評価基準および評価方法について、認定日本語教育機関としての評価法としていく必要がある。より明確化および体系化を図るとともに、生徒への周知・開示を一層充実させる必要があると考える。

また、授業評価および成績評価結果のフィードバックについて、実施頻度や方法の統一を図り、継続的かつ組織的に運用する体制の整備が求められると考える。

さらに、生徒による授業評価の実施およびその結果の活用についても、より体系的に行い、教育の質向上に確実に結び付けていくことが課題である。

6. 教育活動を担う教職員	A	B	C
6.1 校長、主任教員、本務等教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.2 教育目標達成に必要な教員の知識、能力及び資質を明示している。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.3 教員及び職員の採用方法及び雇用条件を明文化している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.4 教員及び職員の研修等により教育の質及び支援力強化のための取組みをしている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.5 教育機関としての信頼を高めるため、倫理観、振る舞い、ハラスメント防止等に関する研修を行っている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
6.6 教員及び職員の評価を適切に行っている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

【現状】

本校では、校長、主任教員、本務等教員及び教員それぞれの職務内容、責任および権限を明確に定め、適切な役割分担のもとで教育活動を実施している。

また、教員および職員の採用方法や雇用条件についても明文化されており、適正な人事管理を行っている。さらに、教育の質および学生支援力の向上を目的として、教職員に対する研修や情報共有の機会を設け、継続的な能力向上に努めている。

【今後の課題】

教育目標達成に必要な教員の知識・能力・資質について、より具体的かつ明確に定義し、教職員間で共有する体制の整備が必要であると考ええる。

また、倫理観やハラスメント防止等に関する研修については、計画的かつ体系的に実施する体制の強化が求められると考ええる。

さらに、教員および職員の評価制度について、評価基準の明確化および評価結果の活用方法の整理を行い、組織全体の教育力向上につなげていくことが課題であると考ええる。

7. 教育成果	A	B	C
7.1 入学から修了・卒業までの学習成績を記録、保管し、適正に管理している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.2 修了・卒業の評価を適切に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.3 日本留学試験、日本語能力試験等の外部試験の結果を把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.4 卒業または修了後の進路を把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7.5 卒業生及び修了生の状況を把握するための取組みを行い、進学先、就職先等での状況を把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

【現状】

本校では、入学から修了・卒業に至るまでの学習成績を適切に記録・保管し、管理体制を整備している。修了・卒業の判定についても、定められた基準に基づき適切に実施している。

また、日本留学試験や日本語能力試験等の外部試験の結果についても把握し、教育成果の検証に活用している。

さらに、卒業または修了後の進路については、進学先・就職先を把握するとともに、卒業生の状況についても継続的に情報収集を行い、教育成果の把握および指導改善に役立てている。

【今後の課題】

教育成果のさらなる可視化および分析の高度化を図るため、学習成績や外部試験結果、進路実績等のデータを体系的に整理・分析し、教育内容や指導方法の改善により一層活用していくことが求められる。

また、卒業生の追跡調査については、継続的かつ組織的に実施できる体制の強化が課題であると考える。

8. 生徒支援	A	B	C
8.1 生徒支援計画を策定し、支援態勢を整備している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
8.2 生活指導責任者が特定され、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。担当者が複数名の場合は、責任者が特定され、それぞれの責任と権限を明確化している。また、これらの者を生徒及び教職員に周知している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.3 日本社会を理解し、適応するための取組みを行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.4 留学生活に関するオリエンテーションを入学直後に実施し、また、在籍者全員を対象に定期的実施している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.5 住居支援を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.6 アルバイトに関する指導及び支援を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.7 健康、衛生面について指導する態勢を整えている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.8 対象となる生徒全員が国民健康保険に加入し、併せて留学生用共済制度に加入している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.9 重篤な疾病や傷害のあった場合の対応、及び感染症発生時の措置を定めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.10 交通事故等の相談態勢を整備している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.11 危機管理体制を整備している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8.12 火災、地震、台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所等を定め、避難訓練を定期的実施している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

8.13 気象警報発令時の措置を定め、教職員及び生徒に周知している。	● ○ ○
<p>【現状】</p> <p>日本社会への理解促進のための指導や、入学時のオリエンテーション、在籍中ホームルームを実施し、留学生が円滑に生活できるよう支援している。住居支援、アルバイト指導、健康・衛生指導についても適切に行っている。</p> <p>さらに、すべての生徒が留学生向け共済制度へ加入しており、国民健康保険寮の支払いについても適宜管理している。</p> <p>災害時の対応については、避難方法・避難経路・避難場所を定め、定期的に避難訓練を実施しているほか、気象警報発令時の対応についても教職員および生徒へ周知している。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>生徒支援については各種取組みを実施しているものの、それらを体系的に整理した「生徒支援計画」としての明文化および全体共有が十分とは言えないと考える。</p> <p>今後は、支援内容・担当体制・対応フロー等を整理した計画を策定し、教職員間での共通理解を深めるとともに、より組織的かつ継続的な支援体制の構築を図る必要があると考える。</p>	
9. 進路に関する支援	A B C
9.1 進路指導担当者を特定している。	● ○ ○
9.2 生徒の希望する進路を把握している。	● ○ ○
9.3 進路に関する最新の資料が備えられ、生徒が閲覧できる状態にある。	● ○ ○
9.4 入学時からの一貫した進路指導を行っている。	● ○ ○
<p>【現状】</p> <p>本校では、進路指導担当者を明確に定め、責任体制のもとで指導を行っている。生徒の希望する進路については、面談等を通じて把握し、それぞれの目標に応じた支援を実施している。</p> <p>また、進学に関する最新の資料を整備し、生徒が自由に閲覧できる環境を整え、きめ細やかな進学指導の実施に努めている。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>進学先に関する最新情報の収集および提供体制の強化に加え、卒業生の進路実績や進学後の状況をより体系的に把握し、指導内容の改善に活用していくことが課題であると考えている。</p>	
10. 入国・在留に関する指導及び支援	A B C

10.1 入管事務担当者を特定し、その職務内容及び責任と権限を明確に定めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.2 担当者は、研修受講等により最新かつ適切な情報取得を継続的に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.3 入国管理局により認められた申請等取次者を配置している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.4 入管法上の留意点について生徒への伝達、指導等を定期的に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.5 在留に関する生徒の最新情報を正確に把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.6 在留上、問題のある生徒への個別指導を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.7 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを継続的に行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10.8 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<p>【現状】</p> <p>本校では入国管理局に認められた申請等取次者を配置し、適切な手続き体制を整備している。また、担当者は研修等を通じて最新の情報を継続的に収集し、適正な在留管理に努めている。入管法上の留意点については、生徒に対して定期的に指導を行い、法令遵守の意識向上に取り組んでいる。</p> <p>さらに、在留に関する生徒情報については適切に把握・管理するとともに、問題がある場合には個別指導を実施している。不法残留や資格外活動違反等の防止についても、継続的な指導と管理により未然防止に努めている。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>在留管理体制については適切に機能しているが、法令遵守の意識を一層高めるため、生徒への継続的かつ多角的な指導の強化が求められると考える。</p> <p>また、在留に関するリスク管理について、より早期対応が可能となるよう、情報把握および指導体制のさらなる充実を図る必要があると考える。</p>			
11. 教育環境	A	B	C
11.1 教室内は、十分な照度があり、換気がなされているとともに、語学教育を行うのに必要な環境が確保されている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.2 授業時間外に自習できる部屋を確保している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.3 教育内容及び生徒数に応じた図書やメディアが整備され、常時利用可能である。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.4 視聴覚教材やITを利用した授業が可能な設備や教育用機器を整備している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.5 教員及び職員の執務に必要なスペースを確保している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

11.6 同時に授業を受ける生徒数に応じた数のトイレを設置している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.7 法令上必要な設備等を備えている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.8 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形状である。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11.9 バリアフリー対策を施している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<p>【現状】</p> <p>本校では、教室内の照度および換気環境を適切に確保し、語学教育を行う上で必要な学習環境を整備している。また、授業時間外に利用可能な自習スペースを確保し、生徒の自主学習を支援している。</p> <p>さらに、視聴覚教材やICT機器を活用した授業が可能な設備を整備するとともに、教職員の業務に必要な執務スペースも確保している。</p> <p>施設面においても、生徒数に応じたトイレの設置、法令上必要な設備の整備、安全に配慮した校内構造、バリアフリー対応等を行い、安全かつ適切な教育環境を維持している。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>図書やメディア等の学習資源については一定の整備がなされているものの、教育内容や生徒のニーズの多様化に対応するため、さらなる充実が求められると考える。</p> <p>今後は、教材や参考書の拡充に加え、デジタル教材やオンライン学習資源の整備を進め、学習環境の質の向上を図る必要があると考える。</p>			
12. 入学者の募集と選考	A	B	C
12.1 理念・教育目標に沿った生徒の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.2 機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.3 教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める生徒像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.4 海外の仲介業者等に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.5 入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.6 生徒情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.7 入学志願者の学習能力、勉学意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れる課程の教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12.8 入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

12.9 関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<p>【現状】</p> <p>本校では、理念および教育目標に基づいた受入方針を定め、年間の募集計画を策定している。入学志願者に対しては、職員が適切に情報提供を行っている。</p> <p>また、教育内容や教育成果、求める学生像、応募資格等については、最新かつ正確な情報を開示している。海外の仲介業者に対しても適切な情報提供を行い、その募集活動について把握・管理している。</p> <p>入学選考については、選考基準および方法を明確に定め、適切な体制のもとで実施している。志願者の学習能力、日本語能力、学習意欲等を総合的に確認するとともに、提出書類の確認や筆記テスト、面接等を通じて適正な選考を行っている。</p> <p>さらに、学費等の納付金については金額および納付時期を明示し、学費返還規程についても法令に基づき整備・公開している。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>海外の仲介業者との連携については、継続的な情報共有および指導体制の強化を図り、より適正な募集活動の維持・向上に努めることが求められると考える。</p>			
13. 財務	A	B	C
13.1 財務状況は、中長期的に安定している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13.2 予算・収支計画の有効性及び妥当性が保たれている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13.3 適正な会計監査が実施されている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<p>【現状】</p> <p>本校の財務状況は中長期的に安定しており、健全な学校運営を維持している。予算および収支計画については、その有効性および妥当性を踏まえて策定され、適切に運用されている。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>財務基盤は安定しているものの、将来的な環境変化に対応するため、収支構造の継続的な見直しおよびリスク管理の強化が求められると考える。</p> <p>また、財務情報の分析を通じて、より効率的かつ持続可能な学校運営の実現に向けた取組みを推進する必要があると考える。</p>			
14. 法令遵守	A	B	C
14.1 法令遵守に関する担当者を特定している。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

14.2 教職員のコンプライアンス意識を高めるための取組みを行っている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
14.3 個人情報保護のための対策をとっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
14.4 入国管理局、関係官庁、日振協等への届出、報告を遅滞なく行っている。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<p>【現状】</p> <p>本校では、入国管理局や関係官庁等への各種届出および報告について、遅滞なく実施している。</p> <p>教職員に対しては、日常業務や会議等を通じてコンプライアンスに関する意識づけを行っており、適正な学校運営の維持に努めている。個人情報の取扱いについても、適切な管理を行っている。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>教職員のコンプライアンス意識のさらなる向上を図るため、研修の体系化および定期的な実施体制の整備が必要であると考ええる。</p> <p>また、個人情報保護については、管理体制や運用ルールの明確化および見直しを行い、組織全体での適切な取扱いを一層徹底することが求められると考える。</p>			
15. 地域貢献・社会貢献	A	B	C
15.1 日本語教育機関の資源・施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
15.2 生徒ボランティア活動への支援を行っている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
15.3 公開講座等を実施している。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

【今後の課題】

今後、地域貢献および社会貢献活動について実施することが求められると考える。特に、公開講座や地域住民向けの交流活動等については、計画的な実施体制の整備が課題であると考ええる。

今後は、地域との連携を強化し、教育機関としての社会的役割を一層果たしていくため、継続的かつ組織的な取組みを推進していく必要があると考える。

【総合】

本校の自己点検・評価の結果、教育活動、学校運営、在留管理、募集・選考、財務等の各分野において、概ね適正かつ安定した運営がなされていると評価できる。特に、在留管理体制の整備、適正な入学者選考、進路指導および教育成果の把握については、十分な取組みが行われており、教育機関としての信頼性は高い。

また、教育課程の編成や授業運営についても体系的に実施されており、生徒の日本語能力向上および進学指導体制が確立されている。加えて、財務基盤についても安定しており、継続的かつ健全な学校運営が可能な状況にある。

一方で、成績評価基準の明確化および体系化、生徒支援計画の文書化、教材・学習資源の充実、教職員に対するコンプライアンス研修の体系化等については、今後さらなる改善の余地があると考えます。

今後は、これらの課題に計画的に取り組むことで、教育の質および学校運営のさらなる向上を図り、より高い水準の日本語教育機関としての発展を目指す。

評価方法

- ・A：「達成されている」あるいは「適合している」項目。
- ・B：「一部未達成」であるが、1年を目途に達成あるいは適合が確実な項目。
- ・C：「未達成」あるいは「適合していない」項目。

2026年年2月2日 名古屋福徳日本語学院